

出えん決定に至るプロセス検討(メリット、デメリット比較)

1、結論(審議のタイミング)

次年度の離島対策等支援事業における審議のタイミングは前年度の12月に開催される「離島対策等検討会」および「資金管理業務諮問委員会」で審議・承認としたい
効率向上を図る為、手続きを1回で終了させたい(審議案)

2、メリット、デメリット比較

項目	審議案	原案	
総合評価		×	
比較	審査会議開催数	1回 (12月)	2回 (12月、翌年3月)
	自治体に対する連絡方法(出えん予定) (12月末までに連絡が必要)	正規連絡書で対応 (1回で終了する)	内示連絡書で対応 (正規連絡書は翌年3月となる)
プロセス概要	協力要請書の提出タイミング	9月	9月
	出えん方針決定承認のタイミング	12月 (出えん計画と併せて策定)	12月 (出えん計画と分けて策定)
	出えん計画承認のタイミング	12月	翌年3月
	自治体への「協力資金出えん予定連絡書」 発送のタイミング	12月	内示: 12月 正規: 翌年3月
	理事会承認のタイミング (2～5号事業計画として承認)	翌年3月	翌年3月